

『雨に打たれて』 書店用POP



アンネマリー・シュヴァルツェンバッハ
Annemarie Schwarzenbach

1908年スイスのチューリヒ生まれ。作家、ジャーナリスト、写真家。
大学では歴史学を専攻し、23歳で博士号を取得。レズビアンだったが、27歳のとき、同性愛者のフランス人外交官の男性と結婚。ナチから逃れるようにして中近東を旅し、帰国後創作活動に入るが、薬物依存症に陥る。1939年、ふたたび中近東への自動車旅行を試みるが、その途上、第二次世界大戦が勃発し、帰国。
1942年不慮の自転車事故で34年の生涯を閉じる。

雨に打たれて

書肆侃侃房



アンネマリー・シュヴァルツェンバッハ
Annemarie Schwarzenbach

1908年スイスのチューリヒ生まれ。作家、ジャーナリスト、写真家。
大学では歴史学を専攻し、23歳で博士号を取得。レズビアンだったが、27歳のとき、同性愛者のフランス人外交官の男性と結婚。ナチから逃れるようにして中近東を旅し、帰国後創作活動に入るが、薬物依存症に陥る。1939年、ふたたび中近東への自動車旅行を試みるが、その途上、第二次世界大戦が勃発し、帰国。
1942年不慮の自転車事故で34年の生涯を閉じる。

雨に打たれて

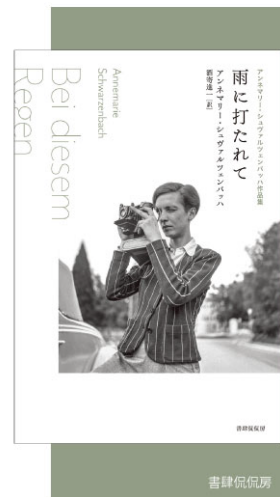
書肆侃侃房

雨に打たれて

アンネマリー・シュヴァルツェンバッハ
酒寄進一訳

1930年代、ナチスに迎合する富豪の両親に反発し、同性の恋人と共に中近東を旅したスイス人作家がいた。同じように世界に居場所を失い、中近東に流れ着いた人々がいた。旅先で出会った人々を繊細な筆致で描いた、さすらう魂の吹き溜まりのような短編集。

山崎まどかさん推薦!!



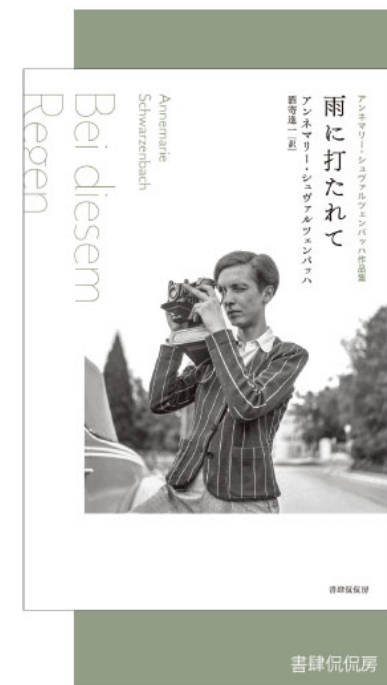
書肆侃侃房

雨に打たれて

アンネマリー・シュヴァルツェンバッハ
酒寄進一訳

1930年代、ナチスに迎合する富豪の両親に反発し、同性の恋人と共に中近東を旅したスイス人作家がいた。同じように世界に居場所を失い、中近東に流れ着いた人々がいた。旅先で出会った人々を繊細な筆致で描いた、さすらう魂の吹き溜まりのような短編集。

山崎まどかさん推薦!!



書肆侃侃房